

旧木細工小（中）学校校舎保存事業完了！

2月21日（土）木細工村おこし会（代表菊池春男氏）が取り組んできた保存事業が完了し、記念式典・記念講演会・祝賀会を行われました。旧木細工小学校は「風の又三郎」「農村の子ら」のロケが行われた校舎。取り壊されるところでしたが、村おこし会が立ち上がり、地元は元より日本中の皆さんからご支援をいただき、ついに事業が完了しました。ご協力頂いた皆さんに多謝！是非、遊びに来て、鐘を鳴らして、昔を懐かしんでください。



会長の挨拶



小竹副会長事業報告



大内住建社長に感謝状贈呈



役員の方々



<昇降口のガッコーの鐘>

岩大望月善次名誉教授講演「宮沢賢治の魅力～<五輪峠>を中心にして賢治と米里(人首)にも触れながら」



<椅子に座っている人が藤城清治さん>

昔はこづかいさん（現校務員）がカラーンカラーンと鳴らす鐘の音に、慌てて校舎に駆け込む姿が思いだされます。校舎中央には鐘の次に学校の始まりを知らせるベルが錆びて鎮座しています。正に昔の学校の有形文化財です。保存してくれた木細工村おこし会の皆さんに感謝。学校の裏山では、春になると春ぜみが始まり、裏を流れる人首川のせせらぎ、カッコー、そして元気な子供達の声「音のある風景」＝無形文化財です。是非、遊びに来てください。